

くすかけト



着ぐるみ使用マニュアル



倉吉市企画振興部総合政策課

# 目次

1 : 事前確認事項	1
2 : 着ぐるみに入る人の服装	2
3 : 着ぐるみ各部の説明	3
4 : 着替えの手順	4 ~ 5
5 : 装演時の注意点 (中に入る人向け)	6
6 : 装演時の注意点 (アテンダント向け)	7
7 : 片付けと運搬	8



# 1:事前確認事項

着ぐるみを使用する前には、以下の点を必ず確認しておくこと

## 人員体制

- ・ 装演者は、2人で順次交替していく体制が理想。
  - ・ 1人の場合でも基本30分程度を上限として、必ず休憩を取る。
  - ・ アテンダントは必ず1名以上つけ、動作時等の補助を行うこと。
  - ・ 幼児が集まるイベントは、アテンダントを3名つける。
  - ・ 装演者及びアテンダントは、必ず当マニュアルを熟知しておくこと。
  - ・ イベントなどにおいては、演出等について司会者と十分に打合せを行うこと。
- ⇒くらすけくんは、演技中に会話や鳴き声など発声することは禁止しています。

## 控室の確保

- ・ 控え室は、着替えることのできる十分なスペースがあり、着ぐるみを広げることのできる部屋を用意する。
  - ・ 外部から覗かれることがないように留意する。
    - 例1：控え室は関係者以外立ち入り禁止区域に設ける
    - 例2：入口前にパーティションを置き、外から控え室が見えないようにする
- ※出入口は95cm以上の幅を確保すること。

## 運搬車両等の確保

- ・ くらすけくん本体(138×152×95cm)を積載できる車両及び2人以上の運搬員を準備する。
- ・ 使用の前日及び翌日の使用状況を確認し、受け渡しの調整を行う。



## 2: 着ぐるみ内に入る人の服装

### 基本の服装

- 頭
  - ・頭はタオル、バンダナなどを巻き、額に汗が流れないようにする。
  - ・長い髪はゴムでまとめ、手ぬぐい等で髪がたれてこないようにまとめる。
- 顔
  - ・眼鏡を使用するときは曇り止め、眼鏡バンドをする。
- 手
  - ・中に汗が残らないよう、ドライバースタグ等を着用する。
- 体
  - ・夏 上：長袖Tシャツ  
下：ジャージ、スパッツ、レギンス(足首まであるもの)  
(いずれも吸汗性の優れたものがよい)
  - ・冬 上：スウェット(トレーナー)、長袖Tシャツ  
下：ジャージ、スウェット(トレーナー)
- 足
  - ・着ぐるみ内に靴があるので、自分の足のサイズと合わせて、靴下を選ぶ。
  - ・素足は滑ることを防ぐため不可とする。

### 注意事項

- ピアス・アクセサリー等は外す
- 前日の睡眠不足・二日酔いなどは厳禁
- 必ず適度なストレッチなど運動をする
- 夏場は水分補給を確実に行うこと
- 便意等緊急の場合に備え、アテンダントへのサイン、伝達方法を決めておく
- 火気厳禁(着用したままの喫煙は厳禁)
- 雨天時の屋外での使用は避けること



<イメージ>

※身長155センチ〜170センチ程度の男女が適任

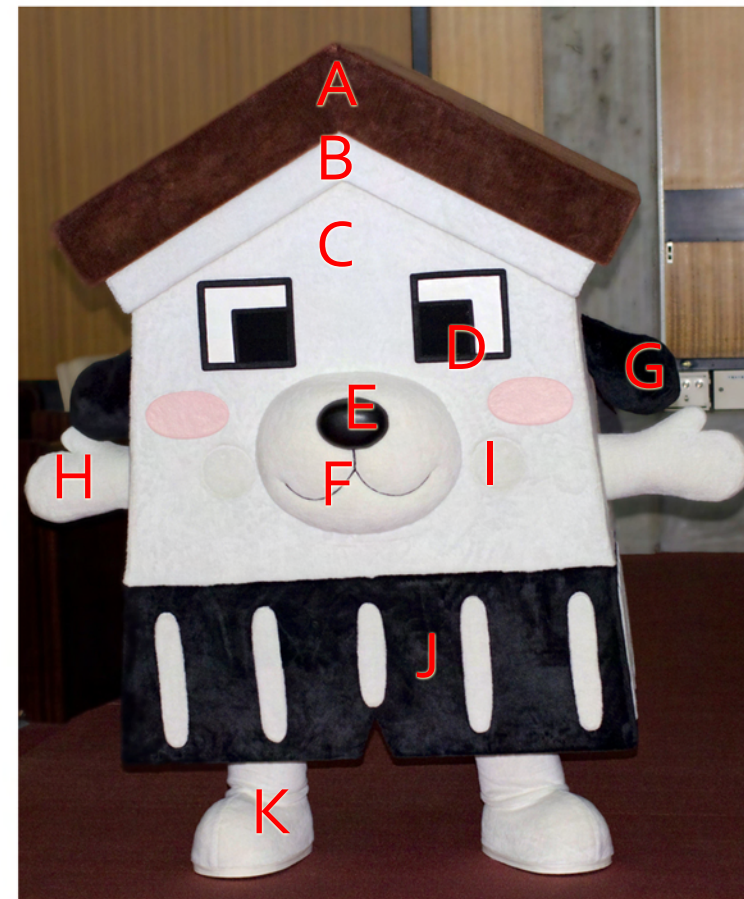


# 3: 着ぐるみ各部の説明



- ① 本体・・・肩ひもと腰ベルトで装着
- ② 足・・・足に履く
- ③ 腕・・・本体に装着する
- ④ 手袋・・・手に装着する
- ⑤ タイツ・・・履く
- ⑥ 尻尾・・・本体に装着する

## 完成体



## 構成

- A・・・屋根
- B・・・けらば
- C・・・顔
- D・・・目
- E・・・鼻
- F・・・口
- G・・・耳
- H・・・手
- I・・・手出穴
- J・・・腰壁
- K・・・足

※ 装着時には視界の確保に留意する

・目⇒左右

※ 背中ファスナーは途中でしか開かないので、無理やり開けようとすることは厳禁。



ここまでしか開きませんので、絶対に引き上げないで下さい



# 4：着替えの手順①

## 注意事項

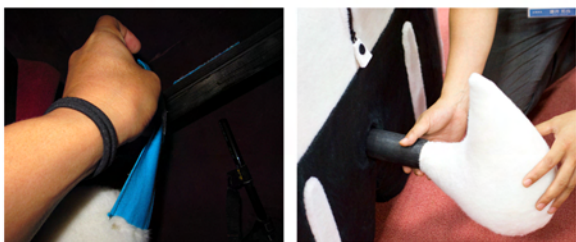
### 着替える場所（控え室）の確保

- ・外部から絶対に見えない場所
- ・締め切りになるテント、部屋
- ・ステージ、登場ポイントに近い場所

### 着替える前の準備

- ・服装  
⇒下に着る服は「2：着ぐるみ内に入る人の服装」参照
- ・着ぐるみを置くビニールシート（汚れた床や地面に直接着ぐるみを置くことは厳禁）

## 手順図解



### 事前準備

- ・腕を中のマジックテープから外し、腕を本体にセットしておきます。
- ・尻尾も外からはめ込んでおきます。黒い部分が見えなくなるまではめ込んでください。

### 1：タイツをはく

- ・タイツをはきます。

### 2：手袋を装着

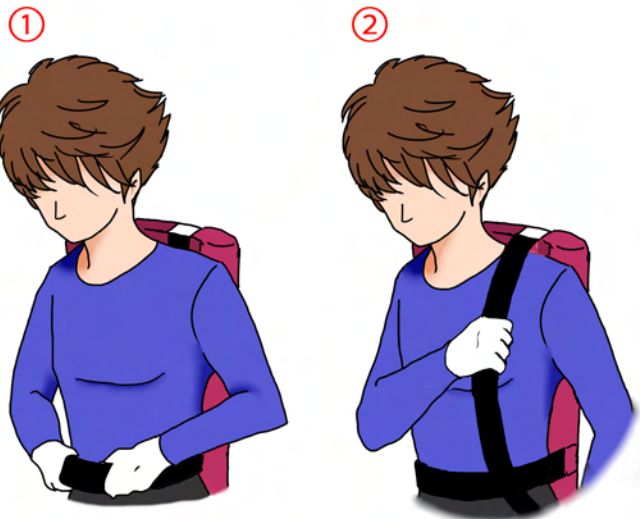
- ・手袋を首にかけ装着します。（ゴムで太さを調節して下さい）

### 3：本体を傾ける

- ・本体を直立の状態から左（尻尾のパイプが出ていないほうが浮くようにする）に傾けて、空いた隙間から演者が潜り込みます。  
※写真とは異なりますが、この時点で足は装着しません。



## 4：着替えの手順②



### 4：ベルトをしっかり留める

- ・腰ベルトを留め、肩ひもをかけます。
- ※ この時、アテンダントが両側から持ち上げ、演者は腰で重量を受けるようにして装着して下さい。
- 肩ベルトは位置の調節のためなので、肩で重量を受けないようにして下さい。



### 5：マジックテープをとめる

- ・腕、耳、尻尾のマジックテープをとめます。（下の接続方法を参照して下さい。）
- この時、内部が暗く見にくいので、手出し窓を開け明かりをとるようにして下さい。



### 6：靴を履く

- ・靴を履きます。アテンダントは両側から本体を支えておいて下さい。

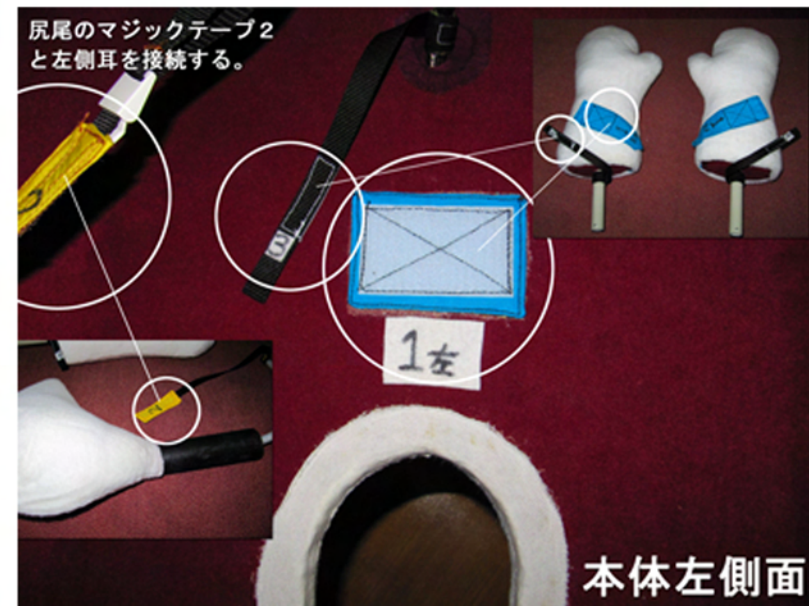
### マジックテープの接続方法

- 腕…穴上部にある水色のマジックテープ(1)と耳から伸びている黒色のマジックテープ(3)
- 耳…腕につながる黒色のマジックテープ(3)と尻尾に伸びている黄色のマジックテープ(2)
- 尻尾…耳につながる黄色のマジックテープ(2)

※ 右の耳、腕は尻尾には接続しません。

※ 肩ひもにかかったりしないよう各テープを繋いで下さい。

繋がったら腕を動かして動き具合を確認し、テープを調節して下さい。





# 5 : 装演時の注意点 (中に入る人向け)

## 装着

- 覗き穴から前方を確認  
⇒ 構造上、通常姿勢だと視野が極端に狭くなるため、特に振り向いたり頷いたりする際に注意する。
- 周囲への注意を怠らない。  
⇒ 腹回り、尻尾などの近くの人・小さな子どもに十分に注意する。

## 動き

- 動きはオーバーアクション気味に動く。  
⇒ 着ぐるみは手足が短いので、意識的に大きく動かないと見ている側には着ぐるみの動きが小さく見える。
- 子どもを抱きかかえる行為は厳禁。  
⇒ 事故につながる危険性がある。
- 手出し窓を利用する場合は、なるべく横の手を中に引っ張り込む。

## 発声

- 演技中に会話や鳴き声など発声することは厳禁  
⇒ くらすけくんのキャラクターイメージを壊さないため。
- 装演者の感情は表に出さない。  
⇒ 不都合な事態はアテンダントに対応してもらう。
- アテンダントとの間に「緊急事態」「トイレ」「もう我慢できない」などを知らせるサインを決めておく。  
⇒ 周囲の方から殴る、蹴るなどの行為を受けた際もアテンダントへのサインで対処する。

## 移動

- 進行スピード、進行方向についてはアテンダントの指示に必ず従う (特に階段は注意する)  
⇒ 着ぐるみのサイズが大きく、視界が狭いため、目の届かない部分はアテンダントの指示により把握する。
- 走る行為は厳禁。  
⇒ 事故につながる可能性がある。

## 環境

- 必ず、一定の時間を守り装演する。基本は30分ごとに1度休憩をとること。無理・無茶な行動は絶対にしない。  
⇒ 炎天下での装演は時間を調節し、水分の補給は必ず行う (アイソトニック飲料が有効)。保冷剤での体の冷却も効果的。
- 火気のそばには引火の危険があるので絶対近寄らない。  
⇒ 着用したままの喫煙は厳禁。
- 雨天・雪の日には屋外に出さない。  
⇒ 着ぐるみの足は大変滑りやすいので、転倒する危険や修復不可能な汚れになる場合がある。

**※装演中に破損したときは、直ちに使用を中止する。**

## 6 : 装演時の注意点 (アテンダント向け)

### 位置

- 着ぐるみとは「付かず離れず」を心がけ、何かの時には、すぐ対応できる距離にいる。
- 必ず着ぐるみの斜め前あたりから先導し、必要なときは手を引いて着ぐるみの歩行を補助する(階段・段差など)。  
⇒進行方向や人、障害物の存在を確認し、装演者に伝えるため。子どもなどの突進は必ず止める。
- アテンダントが2人以上つく場合前後に分かれる。  
⇒後方のアテンダントは、尻尾を触ろうとする人への注意を促す。着ぐるみが振り返るとき等、後方は危険。

### 声かけ

- ポイントでは必ず状況を装演者へ知らせてあげる。
- 握手・写真撮影は必ず正面からくらすけくんにオーダーするよう、ゲストにはアナウンスをする。  
⇒声かけは、親しげに、装演者にではなく、くらすけくんへの声かけとして行う。  
例：「くらすけくん、お友達が握手したいそうですよ」、「くらすけくん、前に階段があるから気をつけてね」
- 控え室外で、装演者と無駄話をしない。

### 対応

- 周囲の状態に絶えず気を配る。  
⇒装演者は周囲がほとんど見えないので、声かけにより周囲の状況を知らせてあげる。
- 装演者の様子に気を配り、無理をさせないようにする。  
⇒出演時間はあらかじめ決めておき、時間管理の上、切り上げるタイミングも考えておく。延長は避ける。
- 着ぐるみの尻尾と腹回りに集まる子どもには特に注意する。  
⇒装演者の視界には子どもが入っていないことが多い。
- 着ぐるみに危害を加える人には、毅然とした態度でハッキリとお断りをする。
- ギャラリーの「入ってるの、男？女？」の質問への答えは「くらすけくんはくらすけくんですよ」とにこやかに一言だけ答える。
- 握手や写真撮影の際、人の整理を行う。
- 「抱きかかえてほしい」との要望は明るくお断りする。  
⇒「手が滑るんです」など造作的な理由は言わず「くらすけくんは抱っこできないので」と説得する。



# 7:片付けと運搬

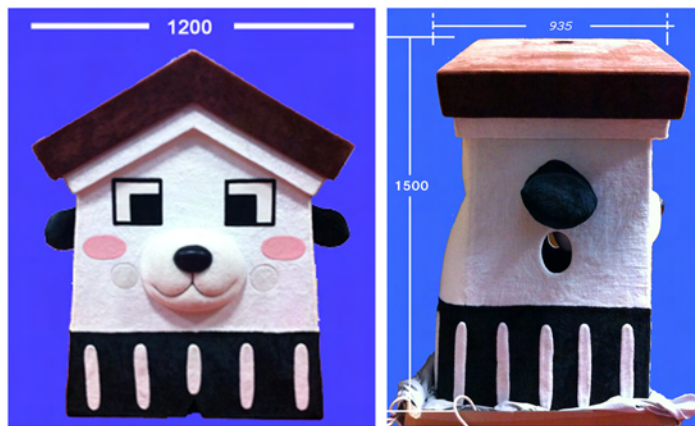
## カビ・劣化、破損を防ぐため、正しい方法で返納する

### 使用時、使用後、運搬時の注意事項

- 手袋、足を装着する場合は、ドライバー手袋・靴下を使用して、中に汗が残らないようにして下さい。
- 突起物に押し当てないで下さい。
- のぞき部分は、金網を使用していますので、顔面を下向きに置かないで下さい。破損、変形してしまいます。
- 本体が汚れた場合は、洗剤を溶かしたぬるま湯で叩くようにして拭き、その後、きれいな水で洗剤を拭き取って下さい。
- 手袋、タイツは洗濯機（ネット使用）で洗えます。
- 汗をかいた場合は、よく乾かしてから収納・保管して下さい。
- 着ぐるみは無理矢理狭いところに押し込めたり、上に物を乗せたりしないで下さい。変形すると元には戻りません。
- 他の場所への移動、車載等は必ず専用の収納袋に入れて行って下さい。

※破損したり、汚れたときは必ず総合政策課（22-8161）へ連絡すること

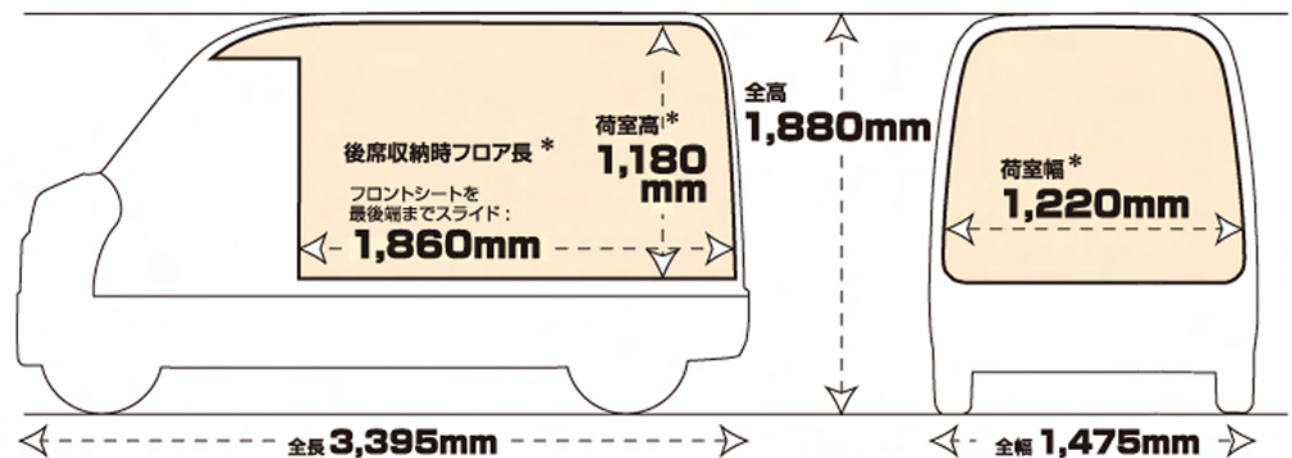
### ※ 運搬用車両の最小限積載スペース



#### 着ぐるみの寸法

横：1200mm 奥行き：935mm

縦：1500mm



※特に荷室幅に注意して下さい。